

## 17 受験に際して配慮の必要な場合(身体障害者等受験特別措置について)

### (1) 身体障害者等に対する受験特別措置の内容

受験上の配慮を希望する受験者に対して、申請に基づき、審査のうえ許可された受験上の配慮を行います。内容は下表のとおりとなります。

特別措置の対象となる者		特別に措置する事項(審査の上特別に措置が認められる事項)					
		必ず措置する事項				受験者からの希望により特別に認められる事項(例)	
		解答方法	試験時間	試験室	試験室で用意されるもの		
視覚障害者	日常生活で点字を使用している者	点字による解答	1.5倍	別室	点字問題冊子 点字用解答用紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>録音テープ等試験問題(カセット・CD)の併用</li> <li>試験会場への乗用車での入構</li> </ul>	
	上記以外の強度の弱視者で良い方の眼の矯正視力が0.15未満の者	文字による解答	1.3倍	別室	文字解答用紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大文字問題冊子の配布</li> <li>拡大鏡等の持参使用</li> <li>窓側の明るい座席を指定</li> <li>照明器具の準備</li> </ul>	
	上記以外の視覚障害者	比較的重度のもの	文字による解答	一般受験者と同じ	別室		文字解答用紙
		上記以外のもの	なし(一般受験者と同じ)				
聴覚障害者	両耳の平均聴力レベルが100デシベル以上の者	なし(一般受験者と同じ)				<ul style="list-style-type: none"> <li>手話通訳者の付与</li> <li>注意事項等の文書による伝達</li> <li>座席を前列に指定</li> <li>補聴器の持参使用</li> </ul>	
	上記以外の聴覚障害者	なし(一般受験者と同じ)				<ul style="list-style-type: none"> <li>注意事項等の文書による伝達</li> <li>座席を前列に指定</li> <li>補聴器の持参使用</li> </ul>	
肢体不自由者	体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者	チェックによる解答	1.3倍	別室	チェック解答用紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>介助者の付与</li> <li>試験室を1階に設定</li> <li>洋式トイレに近接する試験室に指定</li> <li>特製機の持参使用又は試験側での準備</li> <li>車いすの持参</li> <li>つえの持参使用</li> <li>試験室までの付添者の同伴</li> <li>試験会場への乗用車での入構</li> </ul>	
	両上肢の機能障害が著しい者						
	下肢の機能障害により歩行することができない者又は困難な者	なし(一般受験者と同じ)					
	上記以外の肢体不自由者	比較的重度のもの	チェックによる解答	1.3倍	別室		チェック解答用紙
上記以外のもの		なし(一般受験者と同じ)					
その他病弱者等	慢性の胸部、心臓、腎臓疾患等の状態で6月以上の医療・生活規制を必要とする者又はこれに準ずる者	なし(一般受験者と同じ)				<ul style="list-style-type: none"> <li>別室の設定</li> <li>試験室を1階に設定</li> <li>つえの持参使用</li> <li>試験室までの付添者の同伴</li> <li>試験会場への乗用車での入構</li> </ul>	
その他	障害等を併せ持つ者	障害又は病弱等の種類・程度に応じ、上記のそれぞれの該当の欄に記載の事項					

## (2) 特別申請の方法

- ①試験申込書の「受験に際して配慮の必要な方」欄の該当項目に○で囲んでください。(3. その他の場合は、カッコ内も記入してください。)
  - ②「身体障害者等受験特別措置申請書」(55頁)を提出してください。
  - ③医師の「診断・意見書」(56～59頁の該当様式)又は「身体障害者手帳の写し(本人及び等級と障害の内容が確認できる箇所)」を提出してください。身体障害者手帳の写しで本人及び等級と障害の内容が確認できない場合は、医師の「診断・意見書」が必要です。
- ※その他、妊娠や突発的なけが等により配慮が必要となった方は、原則試験日の3日前までに「試験本部」にご相談ください。

## (3) 「身体障害者等受験特別措置申請書」(様式1)作成上の注意

- ①この申請書は、本人又は記入代理者(受験者と相談の上)が、記入してください。
- ②下記の記入方法を参照し、黒又は青のボールペンを使用し正確に記入してください。
- ③誤って記入した場合は、その部分を二重線で消し、訂正してください。

[各欄の記入方法]

区分	記入方法等
「整理番号」欄	この欄は、記入しないでください。
「氏名」欄	漢字で記入してください。
「性別」欄	該当する文字を○で囲んでください。
「身体障害の程度」欄	<ul style="list-style-type: none"><li>・該当する事項について「該当する」の文字を○で囲んでください。この場合必ず1欄のみに記入してください。</li><li>・身体障害者手帳の交付を受けている方は、交付番号及び交付年月日等についても記入してください。</li><li>・下欄には症状及び日常生活での状況等を詳しく記入してください。 (例) 「下肢障害のため車いすを使用している」 「洋式トイレを介助なしで使用できる」</li></ul>
「受験に際して希望する措置」欄	<ul style="list-style-type: none"><li>・該当する事項の「希望する」の文字を○で囲んでください。</li><li>・該当する希望事項がない場合は、「その他」欄に、どのような措置を希望するか詳しく記入してください。</li><li>・特に希望する事項がない場合には、右最下欄の「希望しない」の文字を○で囲んでください。</li></ul>
「受験者の現住所・連絡電話番号」欄	<p>緊急の連絡の場合に必要となりますので、必ず記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アパート等の場合は、名称、室名又は〇〇様方まで正確に記入してください。</li></ul> <p>(注) 現住所・連絡電話番号に変更があった場合には、「記載事項変更届」(51頁)に新旧の事項を明記し、速やかに簡易書留で提出してください。</p>
「記入者名」欄	本人又は記入代理者が署名・押印してください。

## (4) 受験特別措置の決定通知

決定した特別措置は、ご本人宛に通知します。  
通知書は、受験票と併せて試験当日試験会場に持参してください。